

各位

## 令和6年度日本特別活動学会 第1回研究会のご案内（第二次案内）

日本特別活動学会会長 安井一郎（獨協大学）  
研究推進委員会委員長 京免徹雄（筑波大学）

令和6年度第1回研究会につきまして、「教師教育からみた特別活動の可能性」をテーマに開催いたします。登壇者の報告のタイトルが決まりましたので、二次案内をお送りさせていただきます。

2021年度に開催された本学会の創立30周年記念集会では、本学会における特別活動研究の課題の1つとして、教師教育という視座が欠けていることが提起されました。それを受けて、2022年度の第31回研究大会では、シンポジウム「未来に向けた特別活動の継承と再創造」において、教師にとっての特別活動の意味を考えました。

本研究会では、①特別活動の実践者としての成長、②特別活動を通じた教師としての成長や学校適応、という表裏一体の関係にある2つの視点を設定し、学校現場にクローズアップして第31回大会の議論を発展させていきます。働き方改革が叫ばれ、特別活動の負担に焦点が当てられがちな今だからこそ、特別活動が教師の成長にどのような影響を及ぼしているのか、改めて検討してみる必要があるのではないのでしょうか。

多くの皆様のご参加を、心からお待ち申し上げております。

### 1 テーマ

「教師教育からみた特別活動の可能性」

### 2 方法 オンライン会場 Web 会議システム Zoom

### 3 日程

令和6年6月23日（日） 13:00~16:30 <入室開始 12:50~>

12:50	13:00	13:10	14:10	14:20	15:20	15:40	15:50	16:20	16:30
入室開始	開会行事	趣旨説明及び 基調講演 (60分)	休憩	シンポジウム 報告① (30分) 報告② (30分)	指定 討論 (20分)	休憩	総括討論 【ブレイクアウト】 (30分)	閉会行事	

### 4 内容（一部変更する場合があります）

基調講演 「学級活動を通じた若手教師の職能発達研究」

中村 映子（京都橘大学・元小学校教員・公認心理師）

#### シンポジウム

報告① 「小学校における話し合い活動を通じた教師としての変容」

小松 和佳（松山東雲短期大学・元小学校教員）

報告② 「中学校における生徒会担当の経験が、その後の指導に与える影響についての考察」

木村 浩（青森県藤崎町立藤崎中学校）

指定討論：伊勢本 大（松山大学）

コーディネーター：京免 徹雄（筑波大学）・田中 光晴（文部科学省）

### 5 研究会参加申し込み方法

下記のフォーム URL または、右の QR コードから申し込みをお願いします。

<https://forms.gle/4sxoZ5sv4GzQU1hz8>

申し込み期限 令和6年6月16日（日）まで

※参加費は無料で、非会員でも参加できます。



### 6. 問合せ先

令和6年度第1回研究会事務局（研究推進委員会） 小原 淳一 メールアドレス rpc2@hsoeda.com